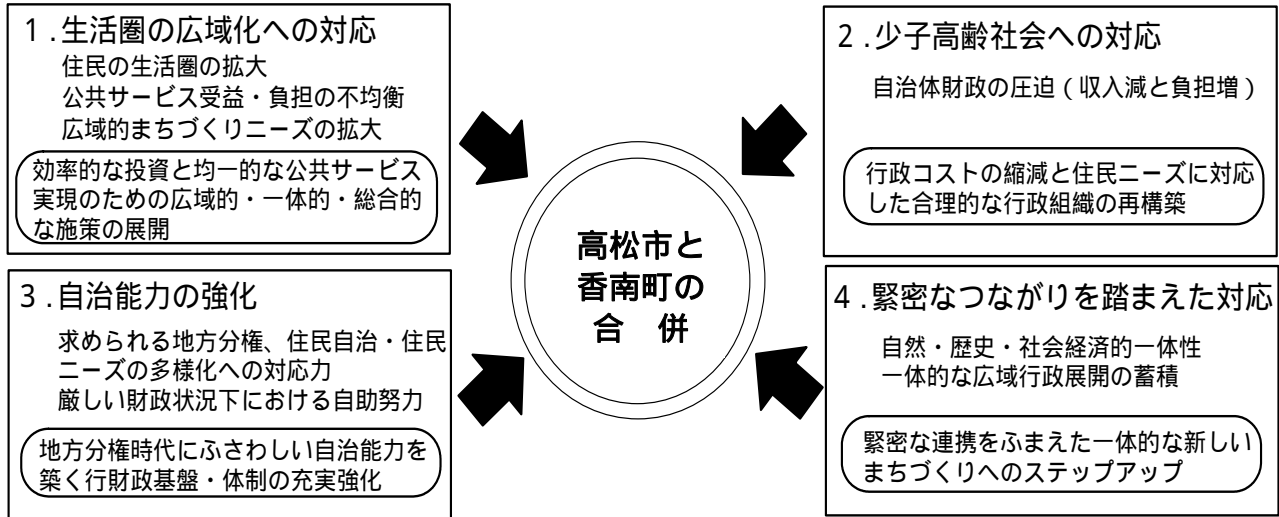


高松市と香南町の合併による “まちづくりプラン”(建設計画)の骨子

1. 合併の考え方



2. 高松市と香南町の合併によるまちづくり

2-1 合併による新しいまちづくりの理念

これまでの両市町のまちづくりの歩みを尊重し、地理的条件、都市機能や産業基盤、多様な地域資源や地域特性を生かしながら、地域全体の魅力や個性を一層高め、豊かで持続的発展が可能な地域社会、文化的で快適な生活が営める都市の創造を目指す。

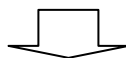
また、みずからの判断と責任で、まちづくりを実践できる自立性の高い自治体を目指す。

このため、合併により、行財政基盤の充実強化を図り、一体的、効率的な行政を進め、多様化、高度化する住民ニーズや社会経済環境の変化に適切に対応した住民サービスと住民福祉の一層の向上を図る。

2-2 香南町地域のまちづくり

香南町地域の役割と機能

- (1) 自然を生かした快適生活創造機能：魅力的なゆとりとうるおいのある文化的な快適生活創造機能を充実・発展させる地域
- (2) 「四国の空の玄関」機能：高松空港の立地特性を活用し、人、物、情報の広域的な交流拠点として、戦略的な産業や個性的な役割の発揮が期待される地域
- (3) 暮らしの支援、交流機能：安全で良質な食料の安定供給などの暮らしの支援機能と田園環境を生かした学習、体験などの多様な交流機能を育てる地域



－ 香南町地域の位置づけ －

“ 田園環境と空港を生かした快適生活、新産業創造交流ゾーン ”

香南町地域の5つのまちづくりの基本目標と基本方針

(1) “連帯”のまちづくり
～保健・医療・福祉の充実した心身
ともに健康に暮らせるまちの実現～

少子・高齢化が進行する中、住民
同士の連帯に基づいて、保健・医療・
福祉の連携を図り、福祉の充実した、
心身ともに健康に暮らせるまちの実
現を目指します。

(2) “循環”のまちづくり
～自然を守り、生かした、自然と
共生するまちの実現～

香南町地域の豊かな自然や田園風
景を保全するとともに、循環型社会
システムの構築などにより、貴重な
自然資源を守り、活用し、自然と共
生するまちの実現を目指します。

(5) “参加”のまちづくり
～住民一人ひとりが参画するまちの実現～

地方分権の要となる「地域自治」の実現に向け、
行財政運営基盤の充実強化を進めるとともに、多様
な住民の声を施策に反映する仕組みづくり、住民自
治力の育成支援、情報公開・情報提供の拡充を図り
ながら、地域づくり、環境保全、文化、スポーツ、
観光、交流など、あらゆる面での住民活動を活発化
させることにより、次世代に誇れる、住民一人ひと
りが参画するまちの実現を目指します。

(3) “連携”のまちづくり
～安全・安心な生活環境のもと、う
るおい、ゆとり、文化、生活の豊か
さを創造するまちの実現～

価値観が多様化し、生活様式が変
化する中で、住民と行政の連携によ
る創意工夫に基づいて、住みやすい
安全・安心な生活環境を築き、うる
おい、ゆとり、文化、生活の豊かさ
を創造するまちの実現を目指しま
す。

(4) “交流”のまちづくり
～“四国の空の玄関”としての特
性を生かした活気のあるまちの実
現～

「四国の空の玄関」である高松空
港を擁し、企業立地が進み、香川県
園芸総合センター等の農業研究施
設などを有する香南町地域の潜在
力を活用し、農業をはじめ、商工業
など既存の産業の一層の活性化を
図るとともに、空港を生かした交流
のためのネットワークの充実を図
り、地域の活力と住民の元気を育て
るまちの実現を目指します。

重点取り組み事項（「第3章 施策・事業」から抽出）

1 “連帯”のまちづくり

(1) 高齢者・障害者にやさしいまちづくり	・社会福祉センター等の機能の活用 ・シルバー人材センターの機能充実等の支援
(2) 保健と医療の充実したまちづくり	・世代間交流の促進 ・保健・医療・福祉の連携 ・救急医療ネットワークの強化
(3) 子どもたちを健やかに育てるまちづくり	・保育所施設の整備 ・特別保育の拡充
(4) 基本的人権を尊重するまちづくり	・センターまつりなど交流事業の促進

2 “循環”のまちづくり

(1) 自然環境の保全と共生に基づくまちづくり	・親水空間の整備 ・水質浄化 ・桜川ダム整備事業の促進（県）
(2) 水資源を大切にすまちづくり	・上水道施設監視システム設置 ・配水池の敷設、配水管敷設替え ・流域関連特定環境保全公共下水道事業
(3) リサイクル型社会を構築するまちづくり	・合併処理浄化槽の設置促進 ・ごみの減量化・資源化の推進 ・し尿貯留層（中継基地）改修
(4) 自然景観と親しむ快適なまちづくり	・ISO14001推進事業 ・緑化と花づくり活動（遊休農地の活用など）の支援

3 “連携”のまちづくり

(1) 安全で安心して生活できるまちづくり	・自主防災組織の充実強化 ・地域防災無線システム構築 ・消防・救急無線デジタル化整備 ・携帯電話等緊急通報システム整備 ・消防緊急情報システム整備 ・三木綾南線交通安全事業（県）
(2) 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり	・生活道路環境の整備 ・園児・児童の安全対策事業 ・幼稚園、小・中学校施設の整備（施設の耐震化、中学校体育館の整備等） ・教育情報通信ネットワークシステム整備 ・中央公民館の機能充実
(3) 生活の豊かさを実感できるまちづくり	・移動図書館巡回 ・まなびCANインターネット整備運営 ・勤労者体育館の改修 ・特色あるスポーツ施設の整備 ・改良住宅建替 ・新世代地域ケーブルテレビ施設整備
(4) 歴史と伝統文化を生かしたまちづくり	・「電子市役所」構築 ・戸籍事務の電算化 ・伝統文化保存継承支援の充実 ・歴史資料館常設展示内容の変更 ・陶芸創作活動の拠点整備（陶芸館の改修整備）

4 “交流”のまちづくり

(1) 時代の変化に応える産業を育てるまちづくり	・農業生産基盤の整備 ・香南アグリームの機能の活用 ・農地防災事業 ・ため池整備：政所池（県） ・企業立地の促進
(2) 魅力ある観光を育てるまちづくり	・コミュニティビジネスの公益的な取り組みに対する支援 ・市民農園の整備促進 ・交流拠点のネットワークづくり ・観光案内板等の整備 ・ボン・フェスティバルなどイベントの開催
(3) 広域的な交流を育てるまちづくり	・県道等整備（県）【地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）三木綾南線、三木綾南線バイパスルート（仮称）構想の検討】
(4) 利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり	・市道等整備【香川綾南線、南原音谷線、尾池丸田線など】 ・パーク＆ライドの検討 ・都心部と空港を結ぶ公共交通のあり方研究 ・都市計画マスタープラン策定

5 “参加”のまちづくり

(1) 行財政運営基盤の充実強化を目指すまちづくり	・支所機能の整備 ・簡素で効率的な行財政システムの構築
(2) 心ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり	・コミュニティ活動拠点の充実整備 ・香南地区地域審議会の開催
(3) 住民と行政のパートナーシップに基づくまちづくり	

2 - 3 新しい高松市の都市づくり

将来構想を展望した都市づくりの方向

(1) 道州制における州都機能の確保を視野に入れた中枢性、拠点性を発揮できる都市づくり

都市交通網や情報通信基盤の整備を図り、付加価値を高めるソフト事業を戦略的に展開する中で、にぎわいとうるおいのある都市空間の創造、豊かな都市生活を支える質の高い都市サービスの向上を図る。効果的、効率的な都市政策や都市経営に取り組むことにより、道州制における州都機能の確保を視野に入れた中枢性、拠点性を発揮できる都市としての着実な発展を図る。

(2) 市民が住みやすく、いつまでも住み続けたいと思える都市づくり

保健、医療、福祉の充実や安全で安心して生活できる環境づくり、自然環境の保全と資源の循環的な利用を基調とした環境にやさしい循環型地域社会づくり、うるおいとゆとりのある生活環境の整備、教養文化、スポーツ・レクリエーションなど、生涯学習の充実や文化活動の促進を図る。様々な生活分野において、地域の有する施設や人材などのネットワーク化や連携、住民同士の連帯感の醸成を図る中で、市民福祉や市民生活に関する施策や取り組みを総合的、効果的に展開する。

(3) 地域の特性、特色を生かし、地域バランスに配慮した都市づくり

豊かで多彩な自然資源や都市資源、産業資源、歴史文化資源など、それぞれの地域の有する個性、特色を生かした地域づくりを進めるとともに、都市集積度の高い地域と中山間地域や島嶼部との間で、行政サービスの格差が生じないよう適切な対応に努める。

市民の利便性等を考慮する中で、施設や行政機能の都心部への一極集中とならないよう地域バランスに配慮するとともに、人口の減少している地域における定住促進を図る。

(4) 多様で幅広い交流を展開する都市づくり

交流人口の一層の拡大に向けて、円滑な交流を促す道路や海上を含む公共交通などの基盤整備、広域的な観光レクリエーション機能、情報発信などのソフト戦略の積極的な展開などにより、多様で幅広い交流を支える都市づくりを進める。

(5) 新しい時代をリードし、地域発展を支える産業を育てる都市づくり

産業構造の変化や情報化・高速化の時代に対応できる産業・経営基盤の強化を図るとともに、研究開発型産業、頭脳集約型産業やソフト産業など、時代をリードする新しい産業の育成や企業の誘致・立地の促進に努める。

自然や歴史文化、温泉などの豊かな観光・交流資源を生かした集客・交流産業の育成を重視するとともに、第一次産業と観光との融合などによる付加価値の高い産業の創出を促進するほか、生活、福祉サービスなど、コミュニティビジネスの育成を図る。

(6) 地域みずからが主体的に取り組む自立した都市づくり

情報公開と情報発信を積極的に推進する中で、女性をはじめ様々な分野の市民の参画を保障するシステムの構築など、市民と行政のパートナーシップによるまちづくりを進める。

古い仕組みを改革と将来に向けた再生を図る中で、中核市としての機能を最大限に生かしながら、自己決定と自己責任の考え方により主体的に都市づくりに取り組むことのできる自立した自治体を目指す。

2 - 4 将来都市構想における望ましい都市像

21世紀の四国の州都を展望した
風格ある環瀬戸内海圏の中核・中核拠点都市 / グレーター高松の創造
- 海・^{まち}街・山と 人が融け合う 元気なまち・高松 -

(趣旨)

四国の州都にふさわしい風格のある都市づくりを展望した、環瀬戸内海圏の中核・中核拠点都市としてのグレーター高松の創造を目指すこととし、高松市の都市機能の集積をベースに、市街地中心部をはじめ、各地域の街(まち) 集落機能と、自然環境豊かな農村地帯、そして山間地域や島しょ部までの多様で特色ある地域が、融合し、一体となったまちづくりを進め、そこに生活する住民同士が、地域の共同目標を共有し、共通認識を持つことによって、地域の総合力を発揮する中で、元気のある都市(まち)を創り上げることを目標とするものです。

エリア別の機能整備の方向

臨海部・島嶼部エリア(海洋性交流創造エリア)

サンポート高松の親水・交流機能と連携し、瀬戸内海の地域資源を活用した海洋性レクリエーション機能、交流機能を軸としたゾーン形成を図ります。

また、観光・文化資源を生かした海洋性の文化・芸術交流の拠点の整備を図ります。

都市中心エリア(業務・都市型産業創造エリア)

サンポート高松を中心とした国際化、情報化に対応した新しい都市拠点機能の核づくりなどを通じて、高次都市機能の集積した中核拠点地域の形成を図ります。

また、香川インテリジェントパークを核とした新しい時代を拓く都市型産業や、特色ある文化の創造に向けた、技術・情報・文化の複合拠点の形成を図ります。

都市近郊エリア(田園型産業・生活創造エリア)

都市近郊の特性を生かし、豊かな田園環境と調和した生活文化交流ゾーンの形成を図ります。また、都市拠点地域と連携した商業・サービス機能の活性化を図るとともに、高松空港を活用した高付加価値型農業などの産業の振興を図ります。

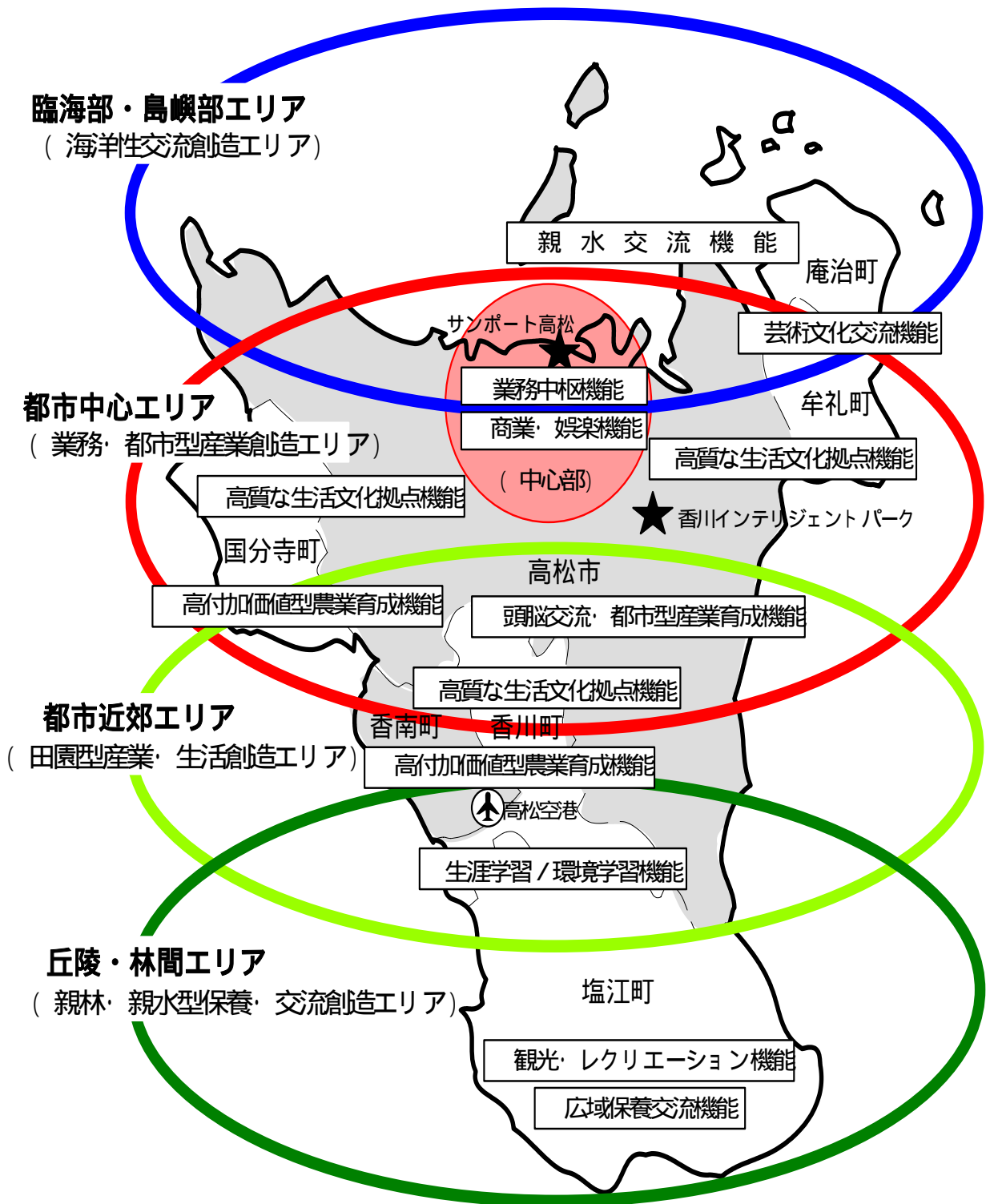
さらに、多様な生涯学習の場として、市民の憩いとうるおい空間の充実を図ります。

丘陵・林間エリア(親林・親水型保養・交流創造エリア)

温泉を核に、森林、清流などの自然環境を生かした観光・レクリエーション機能の集積を進め、親林・親水型保養・交流環境づくりを進める中で、圏域内外から広域的に誘客できる質の高い広域保養交流ゾーンの形成を図ります。

また、多様な生涯学習の場として、市民の憩いとうるおい空間の充実を図ります。

エリア別の機能整備（まちづくり）のイメージ図



合併に伴う効果

(単位 千円)

項目	計画期間中	備考
人件費 (A)	1,996,747	
議員報酬等	481,614	
特別職報酬	482,013	香南町の町長・助役・教育長分
各種委員報酬	51,545	香南町の農業委員会委員等
職員に係るもの	981,575	退職者不補充(25人) 一般行政職員削減(18人)
物件費 (B)	2,499,000	
合併に伴う効率化	2,499,000	香南町の物件費(年間約4.75億円)の1/2を削減
総合計(A+B)	4,495,747	